

様式第3号(第5条、第10条—第12条関係)甲  
(鋼製ボイラー)

ボイラー明細書

種類					
最高使用圧力	MPa				
最大蒸発量	ton/hr				
ボイラーの構造	伝熱面積				m <sup>2</sup>
	火格子面積				m <sup>2</sup>
	胴	材料		最大内径	
				mm	
		長さ		板の厚さ	
		mm		mm	
	鏡板又は管板	材料	形状	すみの丸みの内半径	板の厚さ
				mm	mm
	炉筒又は火室	材料	形状	最大内径	板の厚さ
				mm	mm
	ステー	種類	材料	径(ガセットステーにあっては、板の厚さ)	胴、鏡板等との取付方法
				mm	
				mm	
				mm	
	胴の長手継手の種類及び効率				
	マンホール、掃除穴又は検査穴	種類		大きさ	数
		マンホール		mm × mm	
		掃除穴		mm	
		検査穴		mm	
	水管又は煙管	種類	材料	外径	厚さ
			mm	mm	
管寄せ	材料	形式	内径(内法)又は外径	穴がある側の厚さ	
			mm	mm	
過熱器	形式	材料	過熱管の外径	過熱管の厚さ	
			mm	mm	
節炭器	形式	材料	節炭器用管の外径(鑄鉄製のものにあっては、内径)	節炭器用管の厚さ	
			mm	mm	
安全弁、逃がし弁又は逃がし管	種類	形式	呼び径(逃がし管にあっては、その内径)	個数	
			mm		
			mm		
水面測定装置	種類		個数	ガラス管の内径	
				mm	
				mm	
自動制御装置があるときはその概要					
製造者名及び製造年月	令和 年 月				
工作責任者氏名					
※ 構造検査又は使用検査の別(いずれかを○で囲む)	構造検査 ・ 使用検査				
※水圧試験圧力	MPa				
※検査場所及び検査年月日	令和 年 月 日				
※刻印番号					
※検査者の所属及び氏名					
※摘要					

備考

- 「胴の長手継手の種類及び効率」の欄は、管穴があるときは、管穴部の効率を併記すること。
- 「安全弁、逃がし弁又は逃がし管」の欄の「種類」の項には、ばね安全弁、逃がし弁等の別を、同欄の「形式」の項には、揚程式、全量式等の別を記入するものとし、安全弁にあってはその構造を示す図面を添付すること。
- ※印を付してある欄は、申請者において記入しないこと。
- ボイラーの構造を示す図面を添付すること。